

# 由利

立教187年 令和7年

5 月 号



## 教祖誕生祭参拝

1ヶ月間の主な歩み

四月

一三日 中村隆好大人五十年祭

中村千代刀自十年祭

一五日 北蒲原分教会月次祭

一八日 教祖御誕生祭

一九日 婦人会第一〇七回総会

二二日 大教会月次祭

二六日 御本部月次祭、由利婦人会

五月

二日 支部婦人会、支部はぐくみ塾

三日 支部例会(由利道分)

五日 お願いづとめ(13時30分)

七日 おさづけ取次日

一三日 由利分教会月次祭

## 今月の言葉

由利分教会長

佐々木 正明

今月の言葉は仙田善孝(美拝分教会長)・三宅雅史(医学博士)共著、「医師と読み解く 驚き! 「かりもの」の体」から抜粋します。

あとがきにかえて(三宅医学博士)

体のつくりは神が決めた真理であり、普遍性があるだけでなく、深遠な意味や神秘を含んでいます。先人の解明の歩みに感謝しつつ、身近な人々とその醍醐味を分かち合うのが私の生きがいです。

今回の教会報の連載にあたって、今ふり返れば、どの説明にも「かしの・かりものの理」に通じるものがあったと思えるのですが、当初私は体は物質を借りてできたもので、いつか自然に返るもの」と表面的に理解していたに過ぎず、単に『分かりやすい人体の構造と機能』を念頭

に開始しました。それが筆を進めるうち、**天理教の教えが生物学や医学と矛盾しないだけでなく、科学者の発見よりも先に人体の働きの本質についていくつも言い当てていたこと**に気付かされるようになりました。今も大事に残している仙田会長の言葉に、「この世は神の体」があります。

この世界と、そこで生かしていただいている人間の体、それらはみな神によって創造され、ずつとコントロールされている。そうであれば、神が決めた真理を追究するサイエンスは、その教えを後追いつ、裏付けているのだと気付かされました。

連載記事を本にまとめる作業も仕上げに入った頃、「まえがき」の最後の段落にさりげなく書かれた文章を読んで、はたと膝を打ちました。会長が「気づき」と「報恩」の二語に込めた意図は、人体をつぶさに見つめ、人知の及ばない御業や際限のない奥深さに圧倒されれば、自ずと感動と感謝が生まれる” “そこから親

神様の思召に思い至り、それに応えられるような暮らしを心がけてもらえば”であったとようやく気付いた次第です。私に原稿の打診をするよりも遙か以前から、彼にはそのような構想があったのでしょうか。ふり返れば一番初めに**「陽気ぐらし世界の実現は天理教の壮大な目標」**と教わりました。この世の存在それ自体が永遠の謎と言われますが、この言葉はその謎への一つの答えであったように思えます。教会長に導かれながら、かりものの身体の不思議さ、有難さの一端を、一通りお伝えすることができました。天理教の一貫した願いである陽気ぐらしの実現に少しでもお役に立てれば幸いです。

### 教祖御誕生祭、婦人会総会団参

去る四月十八日、教祖二二七回目の御誕生祭が執り行われました。北洋婦人会として祭典前に神苑草取りひのきしんをさせて頂いてからの参

拝となりました。

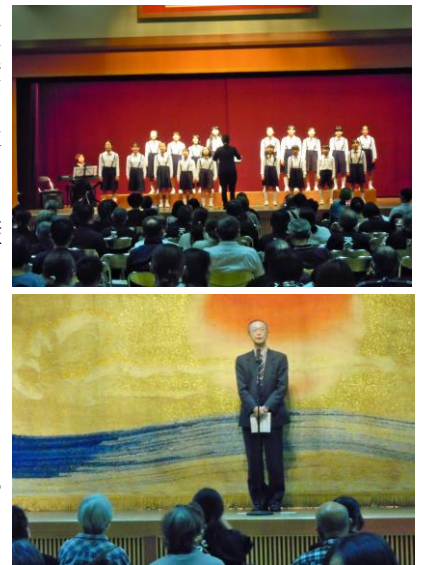
翌日、四月十九日には、晴天のもと天理教婦人会第一〇七回総会が開催されました。

式典ののち、御礼のおつとめを会員全員でつとめ終了しました。午後からは久しぶりに教祖のお墓地に参拝させて頂き、二十日に無事帰会しました。

## 会長さん、天理音楽祭に登壇 及び挨拶

皆様御存知のように、当教会では平成十五年に主に不登校の生徒さんを育成する事を目的に由利明誠高等学院を設立し、多くの卒業生が巣立って行かれました。

それがきっかけとなり、会長さんと由利道の会長さんと杉江健二先生（美張分教会長、青少年養育支援センター代表）が協力し合っておおぼで“不登校支援相談員協議会”を設立。同協議会で約三百一名の不登校



支援相談員を輩出してきました。同相談員は、不登校の分野で第一人者である花輪敏男共栄大学客員教授の講習を受けて頂き、不登校を解決するための実践的知識を身に付けた後に相談員としての資格を取得するものです。個人差はあるかと思いますが、現在その相談員の方々で不登校の問題に直面している方は、同資格の知識を活かして不登校のお助けに取り組んでおられます。

このような活動に前秋田教区修理人でもありました西垣春道本部准員先生が非常に感銘して下さいまして、同協議会の講座を開催する時も御本部の施設を使用出来るように取り計

らって下さったり全面的に支援下さっております。

そういう中で、このような活動を紹介したいという事もあつて、去る四月二十六日午後二時よりおおぼで『**一手一つイン天理音楽祭**』が大勢の本部員先生、各スポーツの著名人、各団体の協力の元、開催されました。

内容は、天理高校雅楽班、天理中学校吹奏楽部、琴とフルートのアンサンブル、本島和太鼓、その他素晴らしい名演奏ばかりでした。

この前半の部終了の後に、当不登校協議会の代表である会長さんに協議会の紹介もかねて是非挨拶をして頂きたいと依頼がありました。

会長さんも恐れ多い御役に緊張もされたようですが、現代社会では不登校のみならず引きこもり、発達障害、家庭の貧困等様々な問題が山積しています。このような様々な分野の問題に取り組むお助け活動を支援したいという御本部の親心をしみじみと感じさせて頂いたとの事です。

6 月 祭 典 役 割 表

神 殿 講 話    矢 島 町 分 教 会 長

開扉・献饌の男子の方は**十時**まで、女子の方は、**十時二十分**までおつとめ着を着用し、神殿にご集合下さい。

胡弓	三味線	琴	小鼓	すりがね	太鼓	拍子木	チャンポン	笛	地方(副)	地方(主)	ておどり							会 長	祭主
											東 滝	亀 田	会 長 夫 人	矢 島 町	松 田 理 奈	坐りづとめ	仁 賀 保		
伊藤奈律子	小林理英子	木内教子	仁賀保	小林大晃	由利東布	雄物川	仁賀保(前)	佐々木由正	齋藤清一	由利道	東滝沢	亀田町	会長夫人	矢島町	松田理奈	坐りづとめ	佐々木由正	仁賀保	属者
小川道子	斎藤美和子	中村柳子	斎藤清一	桑原廣	小林大晃	上之浜	齋藤賢爾	豊島優	佐々木義實	佐々木由正	由利東布	仁賀保	東滝沢	小松敬子	木内美歩	前半	利翔布	斎藤清一	賛者
畠山清香	豊島末子	小川昭子	小川心	小野繁樹	仁賀保	桑原廣	佐々木義實	利翔布	豊島栄二	由利東布	豊島優	小林大晃	佐々木由正	佐々木良美	小川貴美子	豊島絢子	後半	上之浜	指図方

部内だより

矢島町分教会

四月の誕生祭に矢東2名、矢浪1名、矢島2名、計5名参拝させて頂きました。

由利道分教会

誕生祭に會長夫人、家族姉妹3人、孫3人が参拝しました。  
また、長男誠がオーストラリアから帰り4月、修養科に入学させて頂きました。